

文化財保存修復手法の国際的研究 (②セ05-11-1/5)

目 的

文化財の保存修復に関する国際協力を進めるためには、それぞれの文化財を形作る素材、それを現地で保存修復しているこれまでの手法に関して十分に理解しておく必要がある。

本研究では、保存修復手法に関わる様々なテーマを設定し、その問題に関する国内外の専門家を招聘して国際文化財保存修復研究会を実施することにより、これらの情報を関係者で共有し、国際協力に資することを目的とする。

成 果

・講演会および検討会

テーマ：海外における日本の装潢修理技術利用に関する研究会

場 所：東京文化財研究所地下会議室

日 時：2012年2月16日（木）

10：00-12：00 研究所内視察

13：30-13：45 開会の挨拶、趣旨説明

13：45-14：30 吉田博志（株式会社 吉田商店）

14：30-13：15 Regina Belard（フリーア&サックラー・ギャラリー）

15：30-16：30 Luis Crespo（スペイン国立図書館）

16：30-17：15 意見交換会

17：15 閉会の挨拶

参加者：31名

・調査および視察

場 所：東京文化財研究所、小林刷毛製造所

期 日：2012年2月14日（火）、15日（水）、17日（金）

刊行物

・『The Workshop: “The Use of Techniques of Japanese Paper Conservation Outside Japan”』 東京文化財研究所 48p 12.3

研究組織

○川野邊渉、加藤雅人、楠京子、山田祐子、川端冴子（以上、文化遺産国際協力センター）